

# 所 町政がスタート ～挑む～

4月27日、多古町の新たな顔となった 所 一重 町長が初登庁しました。  
地方がそれぞれの特色を生かして、ふるさとを創る時代。これからの“多古町”をどのように  
創っていくのか。所 町長が就任に当たり今後の町政運営について語ります。



■町長就任に当たって

町民の皆さまを幸せに

そして笑顔に

真心込めた責任ある町政運営を

多古町長

所 一重

新緑の輝きが鮮やかさを増し、爽やかな季節となりました。

町民の皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、4月8日に行われました多古町長選挙におきまして、町民の皆さまの力強いご支援を賜り、当選させていただきましたことができました。心より厚く御礼申し上げます。改めてその重責を痛感するとともに、身の引き締まる思いであります。皆さまの期待にお応えできるよう、誠心誠意、全身全霊をかけ、責任ある町政の実現にこの身をささげる決意であります。

町の将来を熟考していきますと、今後の町づくりを進めていく上で、成田空港の機能強化については、最も重要な課題であると認識しております。本年3月13日には、「成田空港に関する四者協議会」において、更なる機能強化の実施について合意に至りました。機能強化を進めるに当たっては、騒音対策や地域振興策の推進など地域の方々が納得できるよう、町民の皆さまの声に耳を傾け、町民の代表として関係機関と折衝してまいります。その上で、圏央道の開通目標期限での整備を促進すると

ともに、圏央道周辺の土地利用や道路網整備などを推進し、企業誘致と一体的に取り組むことが町の発展につながることを確信しております。さらに、空港第4旅客ターミナルの誘致に挑み、空港をフル活用した町づくりを念頭に、さまざまな施策を展開していきたいと考えております。

また、歴史あるわが多古町に活力のある産業・観光集客を目指すに当たり、各地域に魅力ある観光公園等の施設整備に挑むとともに、道の駅多古の売り上げの増加、農家所得の向上などに努めてまいります。

子育て支援については、学校給食の無償化など、子育て世代の負担軽減を図りながら、安心して子育てが行えるように病児・病後児保育の導入に挑んでまいります。また、高齢者の健康と生きがいをつくるため、健康寿命アップに向けた施策の推進を図りながら、健康な高齢者に対してのお祝い特典制度創設に努め、長生きして良かったと思える町づくりに挑んでまいります。

さらに、住み良く安心安全な町を目指し、公共交通体系の充実を図るとともに、さまざまな防犯対策に努めてまいります。教育については、多古高校の存続に全力で取り組み、こども園や各小・中学校の学習環境の充実とレベルアップに努めてまいります。

町が抱えている課題も多くありますが、歴史や文化、自然など多古町らしさを残しながら、住み良い町と想っていただけの施策を一つひとつ着実に実現してまいります。また、町民の皆さまが「幸せ」に、そして「笑顔」になれるような真心込めた責任ある町政を実現し、みんなの想いを現実にするため、きめ細かい町政運営に努めてまいります。

町民の皆さまの温かいご支援とご協力を心からお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。